

平成24年度事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

ザンビア共和国を含むアフリカ・アジア地域に対して地球規模の問題に苦しむ人々の自立支援と、持続可能な社会の構築を目指し、事業を行った。

ザンビア共和国では2003年より実施してきた「小規模ローン事業」、「環境保全型農業推進事業」が終了し、「農村部教育機会向上事業」として2010年より進めてきたコミュニティスクール建設支援も区切りを迎えた。「農村地域保健事業（安全な妊娠・出産支援事業）」はプロジェクト開始から3年目を迎え、チボンボ郡保健局・住民保健組織との継続した連携のもと、施設分娩件数や妊産婦健診率に関して具体的な活動成果が表れてきている。

カンボジア国においては、昨年度に引き続き、同プロジェクトで実施してきた「地域におけるファーストエイド啓発活動」を事業主体に活動を継続した。

国内事業に関しては昨年同様、小・中・高等学校、大学などの教育機関への開発教育活動、合宿セミナーなどを開催した。機関誌も例年通り4回、年次報告書も6月に発行した。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託を受け課題別研修（集団）「へき地での保健医療体制の向上」を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア ①ンゴンベ民生改善事業 ・コミュニティスクール運営支援、モニタリング	月1回	ルサカ市	1人	ルサカ市 ンゴンベ地区 住民2万人	289
	ザンビア ②早産に強い村作り「WAHEプログラム」 (チベンビ地区) ・農村開発ローン	月1回	チボンボ郡	1人	チボンボ郡 チベンビ地区 住民1万人	2
	ザンビア ③農村部保健医療改善事業(安全な妊娠・出産支援) 【JICA草の根技術協力事業】： ・住民保健組織の活動促進（能力強化のための研修実施等） ・小中学生に対する若年妊娠予防啓発活動の促進 ・お産を待つ家建設 ・ヘルスポスト施設及び人材拡充 ・郡保健局との連携の下、ヘルスポスト・お産を待つ家運営支援 ・収入創出活動（養鶏、大豆ローン、回転基金ローン）支援 ・訪問団受け入れ	週 1-2回	チボンボ郡	2人	チボンボ郡 モンボシ地区 住民2万人	7871
	ザンビア ④農村部教育機会向上事業 ・学校施設建設	週 1-2回	チボンボ郡	1人	モンボシ地区ンコン ジェ 住民3千人	2018
	ザンビア ⑤WAHE新規案件形成	通年	チボンボ郡	1人	チボンボ郡モンボシ 地区 住民2万人	33
	ザンビア ⑥ザンビア事務局運営	通年	ルサカ市	2人		3064
	カンボジア ⑦医療従事者救急対応力向上事業 ・救急隊員に対する研修 ・医療従事者の日本招聘、研修	年2回	プノンペン市 西部地区	2人	プノンペン 西部地区市民 30万人	4

	カンボジア ⑧住民啓発事業 ・地域におけるファーストエイド啓発活動	年3回	プノンペン市 西部地区	1人	プノンペン 西部地区市民 30万人	62
	カンボジア ⑨事務所管理	通年	プノンペン市 事務所	1人		433
会報及び出版物の発行	機関誌, パンフレットの発行・広報媒体作成	年4回	事務局	2人	会員・一般 500人	225
教育国内での 開発教育に関する事業	開発教育教材作成事業	随時	事務局等	7人	希望者	46
	青少年人材育成事業 (合宿受け入れ、ユース)	年6回	事務局等	3人	参加者43人	0.7
	地球人カレッジ	月1回	事務局	3人	地域・一般180人 (1回当たり15人程度)	150
	県内外へ講師派遣事業	随時	事務局等	3人	地域・一般千人 (1回当たり10~300人 程度)	23
	徳島大学「国際協力論」	通年	事務局	2人	地域・大学・一般 500人 (1回当たり150~200人 程度)	345
	JICA課題別研修(集団)「へき地での保健医療体制の向上」	随時	事務局	3人	研修員14名	1240
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡, 相談, 助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動, 他の市民活動を行う団体への相談, 助言	随時	事務局	3人	他の市民活動を行う団体(約20団体)	0
	事務局運営(管理費)	通年	事務局	3人	全事業対象者	2787

(2) その他の事業

実施した事業はありません。